

きたかん
『北関』全線開通の整備効果

出典：群馬県、栃木県、茨城県発行『もっと』

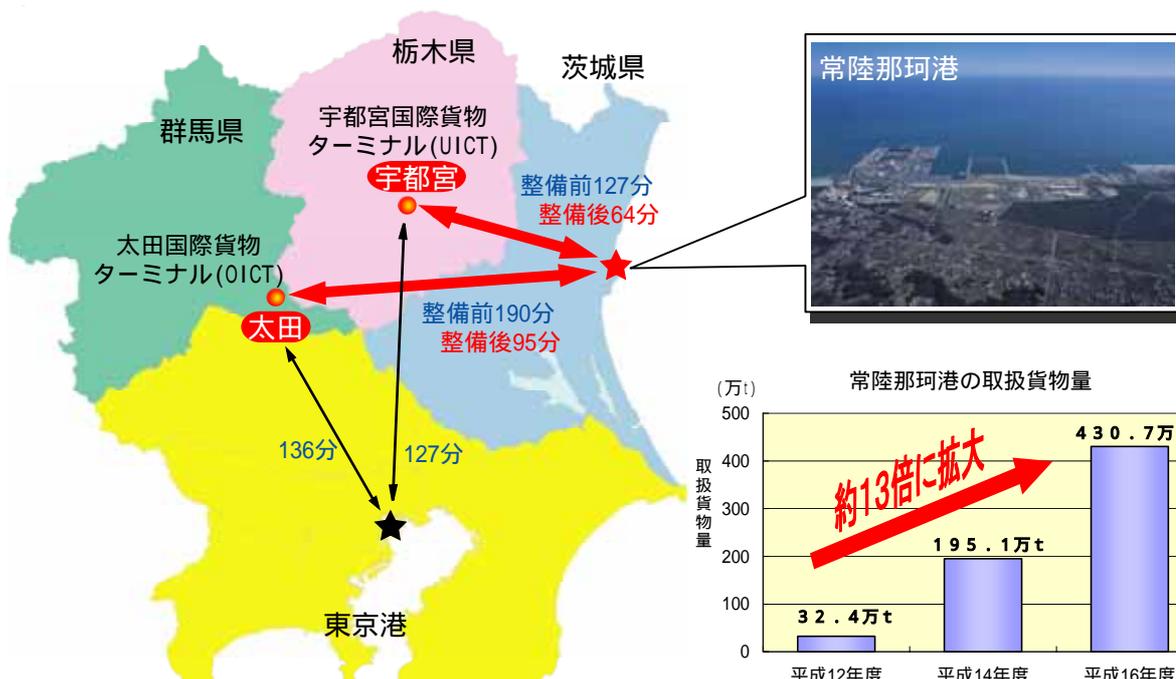
地域間の移動時間が大幅に短縮されます。

- 前橋、宇都宮、水戸など、主要都市間の移動時間が大幅に短縮されます。これにより、北関東3県の地域連携が盛んになり、産業経済や周辺地域の発展にも大きく寄与します。



常陸那珂港へのアクセス向上で新たな経済活動の拡大

- 全線開通により、常陸那珂港と群馬、栃木、茨城3県をダイレクトに結び、独自のネットワークを構築して地域の物流効率を格段に高めます。
- これにより、国際競争力が向上するとともに、新たな工業団地や物流拠点などの沿線における活動の可能性がこれまで以上に広がります。



H12.3の北関東東友部 JCT～水戸南 IC の開通により常磐道と直結されたことにより、国内外の航路の新設が相次ぎ、取扱貨物量、入港隻数も増加しています。

きたかん
『北関』全線開通の整備効果

出典：群馬県、栃木県、茨城県発行『もっと』

年間約 1,850 億円の経済効果が期待されます。

- 全線開通により、周辺道路の交通が高速道路へ転換することによる走行時間の短縮、交通事故の減少や走行速度向上による環境改善により、年間約 1,850 億円の大きな経済効果が生まれます。



全線開通による首都圏の経済効果

約 1,850 億円/年

群馬県：約 340 億円/年
栃木県：約 420 億円/年
茨城県：約 330 億円/年

平成 32 年時点の推計値、直接便益の積算により算出

現在の開通による経済効果

約 230 億円/年

現在の開通とは、北関(高崎 JCT ~ 伊勢崎 IC、栃木都賀 JCT ~ 宇都宮上三川 IC、友部 IC ~ 水戸南 IC) 及び東水戸道路の開通時点